

笹間の風

素晴らしい運動会

でした。

来賓の方から

昨年度まで、コロナの影響もあり、運動会の参観の人数を制限していました。当然、ご来賓のみなさんにも遠慮していただいていた。

今年、コロナが五類になったこともあり、三年ぶりにご来賓の皆さんにもご案内して運動会を実施することができました。三十人以上のご来賓の方々が来校され、テントから子どもたちの様子をご覧になり、結局、運動会の最後までいらっしやいました。

帰りがけ、ロタに、「いやあ、素晴らしい運動会でした。雰囲気の良い運動会を見せてもらいました。ありがとうございます。」とおっしゃっていました。私もそう思っ

て運動会を見ていました。全校で行うものとしては、一学期で一番大きな学校行事です。学校行事なので、授業と同じです。授業なので、ねらいは、準備や練習や本番の競技や演技や係活動を通して、子どもたちが成長することです。何でもかんでも詰め込めばいいわけでもありません。また、授業であるので、単なる楽しいイベントとも違います。運動会への準備、練習、取組を経て、体力だけでなく、協力や責任といったことを学んでほしいと思っています。来賓の皆さんのコメントを聞いて、「子どもの成長を見てくださっていたのだな。」と感じました。

運動会をするにあたって、様々な計画や準備や係活動がありました。

全校児童がひとつのところに向かうためのスローガンを児童会執行部が決めました。「絆がつながる 笹一パワーで一致団結」です。それを執行委員の清水彩笑さん

が大きく筆で書き、当日、校舎に掲示しました。

準備係、出発係、決勝審判係、採点係、放送係、陣地・誘導係、応援リーダーの係活動も、係会や総練習等で、打ち合わせや練習をして当日を迎えました。子どもたちは、やるたびに上手になります。今年度はまだまだでも、日々成長していくのが子どもです。

今年度の運動会で、「いい雰囲気だったなあ。」と思った種目をいくつかお話し

ます。一・二年が玉入れをしました。ただの玉入れではなく、表現活動を取り入れた玉入れです。玉を入れる前にチエツチエツコの踊りを踊ってから玉入れをし



す。音楽がかかると一年生と一緒にになって踊る上学年、かわいいなあと思いました。誰かが、「やりなさいよ。」と言ったわけではないのに。

例年、笹間第一小学校では、笹間さんさを三・四年が踊ってきた。運動会当日に向けて、笹間婦人会の皆さんが学校に何度も足を運んでくださり教えてくださいました。当日も、着付け等でお世話になりました。

踊り出すと、陣地で上の学年が踊り出しました。その輪が組を越えて大きくなっていききました。

笹間第二小学校の運動会で踊ってきた田植え踊りを今年度から笹間第一小学校の五・六年が踊ることにしました。初めてなので、田植え踊り保存会の方たちが、運動会の前に四日連続、毎日、五、六



人で学校に来てくれて、子どもたちに教えてくれました。運動会当日も保存会の皆さんが子どもたちの間に入って踊ってくれました。

笹間さんさでも、田植え踊りでも、郷土芸能の継承を学ぶことができました。

閉会式での成績発表で、赤組から一斉に喜びの声が上がりました。そこまでのワクワク感がよかったです。初めに一の位を発表し、続いて百の位の発表がありました。その時点で、勝敗は分かりません。最後十の位の発表があつて、初めて優勝が決まりました。ドキドキしながら待ちました。



授業として行う運動会は、その機会を使って子どもたちが育つ運動会です。子どもたちの成長を会場の皆さんに見ていただくことができたこと。うれしく思います。

閉会式で会場の皆さんに「子どもたちのがんばり、いかがでしたか？」と、問いかけた時、大きな拍手をいただきました。運動会で、子どもたちの頑張りや成長を見てくださっている方々がたくさんいることに感激しました。

一週間前の天気予報では、運動会当日も雨マークとなっていて、心配しましたが、当日は雨が降ることもなく、暑すぎず穏やかな天気でした。

総練習の時は、逆に、「本当に五月なのかな？」と思うくらい気温が上がりました。三十度近くまで上がったと思います。今後、五月とはいえ、そういう日が増えていくのだと思います。午前中の実施にした理由の一つです。

GW明けからの取組とし、二週間の練習期間をとりました。学校は行事の練習だけをしているわけにはいかなかったので、練習期間や練習時間を考え、また、学校に入ったばかりの一年生の負担も考え、午前中の実施としました。

子どもたちが、運動会で学んだ責任感や協力等の力を授業や様々な活動で生かしていったほしいなあと思います。